

# 社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6  
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

## 新たな社会教育行政の再構築 に向けて 社会教育委員の皆様にご期待すること

### 文部科学省生涯学習政策局社会教育課長

谷合 俊一

「人づくりは国づくり」と言われています。教育は国の根幹を形づくる最重要政策の一つであり、学校教育とともに、社会教育も我が国の社会を創造していくために、絶えずその振興を図ることが求められています。

平成25年1月の中央教育審議会第6期生涯学習分科会の議論の整理においては、今後の社会教育行政等の推進の在り方として、従来の「自前主義」から脱却し、ネットワーク型行政の推進を目指すという方向性が示されました。

すなわち、社会変化に伴い地域コミュニティが変質する一方で、社会教育主体が減少するなど、社会教育行政担当者主体のいわゆる「自前主義」による社会教育では限界があります。そこで、これからの社会教育は、まちづくり、高齢者・福祉、女性・青少年施策と連携・協働するとともに、民間教育事業者や企業、大学、NPOなど外部の多様な主体も巻き込んだ、いわゆる「ネットワーク型行政」に転換し、社会教育行政の再構築を図ることが必要です。

行政の再構築を図ることが必要です。

このような、新たな社会教育行政を再構築していくため、社会教育委員の皆様には今後の社会教育行政ネットワークの中核として、その経験と知見をフルに活用し、これまで以上の積極的な活動をお願いします。具体的には、都道府県社会教育委員におかれては、教育委員会に対する社会教育に関する

建議や諮問に対する答申を積極的に行うなど、都道府県全体の社会教育行政の役割と在り方を検討する役割を期待いたします。また、市町村の社会教育委員におかれては、住民の意向を把握し、それを行政や施策に反映させるためのパイプ役になるとともに、家庭・地域の教育力向上に関して積極的に貢献するなど、地域社会における社会教育活動の具体的取組の推進を期待いたします。

社会教育委員の皆様には、今後の社会教育行政を地域の実践現場から支えるキーマンとして、



谷合 俊一  
(たに あい しゅんいち)

#### プロフィール

- 平成4年4月 文部省(現、文部科学省)初等中等教育局高等学校課
- 平成12年9月 高根県教育委員会高校教育課長
- 平成19年1月 文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長
- 平成19年7月 国立大学法人東京大学本部統括長(財務系、研究推進系)
- 平成21年10月 カリフォルニア大学総長事務室(UCCOP)
- 平成22年10月 文部科学省初等中等教育局参事官付学校運営支援企画官
- 平成24年8月 文部科学省高等教育局視学官
- 平成25年4月 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部長
- 平成26年2月 文部科学省生涯学習政策局社会教育課長

地域が抱える諸課題の把握、解決に向けた指導・助言を行うとともに、関係機関や多様な人材とのネットワークを最大限に活用し、様々な場面で活躍されることを心より祈念申し上げます。

# 共に支え、互いを認め合う社会

徳島県社会教育委員連絡協議会

会長 美馬 義明

## 社会教育の力

『子どもの健やかな成長には、学校・家庭・地域の協力が必要不可欠である』三十八年間の教職生活でいつも感じていました。教員を退職後は、私が生まれ育った地域の民生委員・児童委員、社会教育委員として学校支援、子育て支援等の活動に取り組んできました。

毎朝、通学路で子どもたちを見守る学校安全ボランティアをする中で、私が教員を始めた頃と比べると子どもを取り巻く環境は、大きく変わったと感じています。携帯電話やインターネットの普及や少子・高齢化も加わり、地域の人間関係の希薄化が進んでいます。

今こそ社会教育の力が強く求められており、社会教育委員の重要性が増していると感じています。

### ① 防災と社会教育

東日本大震災から社会教育の重要性が再認識され、徳島県では南海トラフの巨大地震に備え、「防災生涯学習」を推進しています。震災の被害を小さくする「減災」の視点



スクールガードも14年目を迎えました

から、「自助・共助・公助」を担う県民がそれぞれの役割に応じた対策に取り組んでいます。

こうした中、私が所属している徳島県社会教育委員会議では、「防災でつながる地域の絆」をテーマとし、「学校・家庭・地域の連携ですすめる防災生涯学習」の具体的な方策を提言しました。「災害に強いまちは、社会教育が盛んなまち」と言っても過言ではありません。

### ② 文化財と社会教育

今年、空海が四国霊場を開創したと伝えられる弘仁六年から数え二千百年という大きな節目を迎えました。四国遍路は、弘法大師空海ゆかりの八十八箇所霊場の札所寺院と全長一千四百キロにも及ぶ壮大な巡礼路から成り立っています。

遍路文化は、地域社会と一体となっており、一千年以上にわたって継承された「生きている伝統」と言えます。

ます。このように、文化財の継承・意義が長きに渡って続いているのは、社会教育の賜です。

### 四国の右下右上がり

四国の右下にある徳島で行われる全国社会教育研究大会に参加していただき、高齢者が元気な上勝町と生涯防災学習・文化財継承の徳島県から社会教育のエッセンスをつむいでいただき、日本の社会教育、社会教育委員の活力が右上がりになるような大会にしたいと思います。

遍路文化で培ったお接待の心で、参加された皆様をおもてなしいたします。



**第56回全国社会教育研究大会徳島大会  
第37回中国・四国地区社会教育研究大会の御案内**

◇大会概要

- 1 スローガン 「夢・絆 阿波からつむぐ 新たな社会教育！」
- 2 研究主題 「共に支え 互いを認め合いながら豊かに生きる社会の創造」
- 3 期 日 平成26年10月22日(水)～24日(金)
- 4 大会参加費 5,000円/人
- 5 会 場 〈全体会・分科会〉アスティとくしま(徳島市山城町東浜傍示1)
- 6 大会日程 《第1日目》



第1番札所 霊山寺



弘法大師坐像  
(奈良・元興寺蔵)

平成26年10月22日(水) 会場：ホテル グランドパレス  
 社教連理事会 15：00～16：30  
 社教連事務局担当者会議 17：00～18：15

《第2日目》  
 平成26年10月23日(木) 会場：アスティとくしま

社教連総会 10：00～11：30  
 受 付 10：30～12：15  
 アトラクション 12：15～12：45  
 全体会開会行事 12：50～13：40  
 講演会 13：50～15：00  
 シンポジウム 15：10～16：40  
 全体会閉会行事 16：40～17：00



上勝町葉っぱビジネス

《第3日目》  
 平成26年10月24日(金) 会場：アスティとくしま  
 受 付 9：00～9：30  
 分科会 9：30～11：50

文化会名	テーマ	内 容
第1分科会	学校を支える	地域ぐるみで学校を支援する方策
第2分科会	家庭を支える	家庭教育力の向上を図る支援のあり方
第3分科会	地域社会を支える	地域の活性化を図る社会教育委員の役割
第4分科会	地域ぐるみで支え合う	防災・減災のまちづくり
第5分科会	集い支え合う	社会教育施設等を核とした地域の絆づくり

徳島県社会教育委員連絡協議会会長

第56回全国社会教育研究大会徳島大会実行委員会委員長 美馬 義明

**平成26年度社会教育研究大会一覧**

全国大会	(徳島大会)	10月22日(水)～24日(金)	徳島県徳島市
北海道地区	(宗谷大会)	10月16日(木)～17日(金)	北海道稚内市
東北地区	(秋田大会)	11月13日(木)～14日(金)	秋田県秋田市
関東甲信越静地区	(神奈川大会)	11月20日(木)～21日(金)	神奈川県鎌倉市 他
東海北陸地区	(石川大会)	10月16日(木)～17日(金)	石川県七尾市
近畿地区	(大阪大会)	9月12日(金)	大阪府吹田市
中国四国地区	→ 全国大会と合同開催		
九州地区	(鹿児島大会)	11月13日(木)～14日(金)	鹿児島県鹿児島市



# 北から南から

## 縁は追いかけるもの

北海道社会教育委員連絡協議会

会長 大島 峰夫



今から三十年前、教員から社会教育の仕事に転じることになりました。勤務していた町のお寺の住職から、「先生も娑婆に出ることになったかい。」と饒別の言葉をお聞きしました。それ以後、いろいろな方々のお力をお借りしながら仕事をすることが、すなわち自分を成長させることになる、こんな幸せな仕事はないと感じながらの十九年間でした。

この間に、当時道社連協会会長だった新谷淳治さんと出会いました。新谷さんはいつも「縁は追いかけるもの」「広場での集まりをつくらう」との思いを語られ、今も私の心に生き続けています。新谷さんとの出会いは二十五年前のこと、今日私がこのような役を仰せつかるとは全く考えもしなかったことであり、不思議な縁を感じています。

北海道から最近の話題を一つ紹介します。六月に北海道社会教育委員の会議が提言しました。標題は、「子どもたちの自己肯定感を育み、夢や希望の持つことができ、地域づくりを推進するための方策について」です。子どもたちが自らをかけたがない存在として捉えること。そして、夢や希望を持ち、未来に向かって前向きな意識を持つことができるよう、地域の大人の力で育んでいこうというものです。

そこで考えました。大人こそが自己肯定感を持つことが大切だと思うのです。少子化とか過疎化とばかり言っていないで、住んでいる地域の特徴をみつけ、語り、伝え、また住みよくするために行動

する大人の縁をつくっていくというのはどうでしょうか。これで地域がいきいきとし、子どもも自信を持ち、地域を理解し、一層輝くと思うのです。今、社会教育委員に求められていることはこれだと確信に近いものがあります。全道二千人余の委員の方々とともに、地域の人々とのご縁を追いかけ、それぞれの地域で同世代、多世代交流の広場をつくっていきたいと思っています。



新版

### 社会教育委員 必読の一冊

\*法改正に対応しています

一改訂版一

### 社会教育委員のためのQ&A



A5判 定価1,296円(税込)  
企画・編集/  
(一社)全国社会教育委員連合  
発行/(株)美巧社

#### 主な内容

社会教育とは、社会教育と生涯学習  
社会教育委員委嘱の範囲  
諮問に応じるとは  
教育委員会への助言とは  
必要な研究調査とは  
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政  
実際生活に即するとは  
環境を醸成するとは  
社会教育を行う者とは  
社会教育の振興と地方公共団体の任務  
公の支配に属しないとは  
教育委員会と社会教育関係団体の関係

# 学修力から生涯学修力への展開は可能か

広島県社会教育委員連絡協議会

会長 有本章



現在の大学進学率は高卒の六〇%近くに上昇し、社会に占める大卒の割合も増加しつつあります。それに呼応して高い学力や教養力、とりわけ倫理力に富む人材が社会に輩出されて社会発展にさらに貢献します。しかしこの仮説が正鵠を射るには大学は反省を迫られるのではないのでしょうか。というのには最近某県議の呆れた行状をはじめ、政治家、官僚、弁護士、実業家、医師、教師など社会の木鐸を自認するはずの選良が社会的信託を裏切り倫理性にもとる事件を次々起こしているからです。

これでは選良に限らず大卒全体の資質がいかなものかと詮索されても仕方ありません。大学には直接的な責任はなくても一端の責任がある以上、大卒に見合う人材育成を期して確かな教育改革が不可欠でしょう。

その点で言えば、最近の大学教育改革は、学生が受け身の「学習」から能動的な「学修」(アクティブ・ラーニング)に転換し、授業を担保した予習や復習など自主的・主体的な「学修」を持統して、倫理力を含めた豊かな人間性を形成することを目指しています。

そのことが必要なのは、二十一世紀は知識基盤社会が進行し、社会の不確実性が増すために、学生が自力で考える習慣を身につけ創造力、問題発見力、応用力などを十分磨いて卒業しなければ、社会の荒波に翻弄されて失速しかねないからです。同時に進学率が六〇%近くなった高等教育のユニバーサル化時代では、学生の「超」多様化に対応して一人ひとりの学生の潜在的な学修力を引き出すべく「教授―学修過程」を再生し、教養力、専門力、就業力、倫理力などを鍛えて豊かな人間性を醸成

しなければならぬからです。もちろん、大卒の受け皿である社会や社会教育において、こうした新しい学力を一層助長する環境が整備され、学社連携とりわけ大学教育と社会教育の接続によって、大学で培った学修力が社会において生涯学修力として展開されること、が欠かせません。その是非が今後の日本社会発展の活力を左右するカギになるに違いないのであります。



## 社会教育手帳

2015-2016

新書版 定価1,296円(税込)

新版

### 主な内容

#### 1. 備忘録と生活情報

年暦、国民の休日、年祝、結婚記念日、月間予定、記念日、年中行事、年齢早見表、季節のことは(二十四節気、月の呼び名、ことわざの歳時記、七草、手紙の慣用句、外国地名の日本表記、旧国名と現都道府県名)

#### 2. 社会教育資料

都道府県別の市町村数と人口/社会教育の歴史(戦後の略史)/社会教育関連データ/社会教育一口メモ/社会教育関係団体一覧



#### 3. 全国社会教育委員連合の概要

名称、所在/目的と事業/会のあゆみ(主な経緯)/ロゴマーク(会旗、徽章)の由来/組織体制/全国社会教育委員連合歴代会長等一覧/全国社会教育研究大会開催地一覧/地区別社会教育研究大会開催地一覧

(一社)全国社会教育委員連合へ直接またはホームページからご注文ください  
 電話 03-6380-8540 Fax 03-6380-8541  
<http://www.shakyoren.or.jp>

地域の課題は世界の課題

新潟市社会教育委員会議

議長 雲尾 周

最近、市の公民館職員の研修会や勤務校の大学組織改革検討会など、幾つかの場面で、新潟県特有の課題とか、中山間地域の課題と言ったことが取り上げられる機会が重なりました。社会教育は地域の課題、生活上の課題を集団で学ぶことにより解決を指向するものでありますが、地域の課題を極めて狭い世界のことととらえられる方が多いようです。ほとんど田舎の新潟県ですから都会に引け目を感じているのかもしれない。ちなみに筆者は、現在すんでいる新潟市のような都会ではなく、六日町（現南魚沼市）の山裾で生まれ育った人間ですから、新潟県を田舎と評してもよいと自負しております。

それはさておき、例えば少子高齢化が地域の課題ととらえられます。しかしそれは日本中がそうであり、世界の何処か、あるいは全世界がそうなる可能性もあり、いわば課題の先進地域と言えるわけです。産業空洞化、起業家精神の

不足、地域の人間関係の希薄化と言ったことも、地域の課題ではあります。どこの地域でも指摘されることです。

そう言った意味で、地域の課題解決のために、地域住民だけで悩むのではなく、日本中と、全世界とつながる必然性が出てくるわけです。田舎の悩みはワールドワイドに広がっていく。一時期、シンク・グロバーリー・アクト・ローカリーという掛け声が流行りましたが、それを逆方向に読み解いていくことが現代の社会教育で必要と思われれます。

というようなことを考えている最中に中国に出張し、広東省にある孫中山故居記念館に行ってみました。「天下為公」を揮毫した孫文に、「社会教育為世界」と書いてもらえるでしょうか。



生涯学習支援実践講座

生涯学習コーディネーターを養成

「生涯学習コーディネーター資格」が取得できます

いま、生涯学習領域で最も必要とされている生涯学習コーディネーター。生涯学習コーディネーター養成のための本格的研修講座。コーディネートの知識・技術が4か月間の通信教育で習得できます。

**案内書 無料進呈!**  
詳しい案内書をご希望の方は、ハガキ・電話・FAX・メールでご請求ください。

一般財団法人 社会通信教育協会

「生涯学習コーディネーター研修」事務局 〒114-0015 東京都北区中里1-15-8

TEL.03-5815-8432 FAX.03-5815-8433 e-mail sakai@tsushinkyoiku.or.jp

通信教育

講座内容

- 第I単元 (テキストI)  
コーディネートの理解と技術
- 第II単元 (テキストII)  
地域学習情報の活用と技術
- 第III単元 (テキストIII)  
コミュニケーションの仕方の理解
- 第IV単元 (テキストIV)  
事業の設計とマネジメントにおけるコーディネート





### 「社教連」だより

#### 平成26年度

#### 第1回理事会・総会を開催

平成26年度第1回理事会・総会を5月27日(火)に日本弘道会ビル8階講堂で開催いたしました。

議題は①平成25年度事業報告・収支決算報告②公益目的支出計画実施報告について③平成26年度全国大会(徳島大会)④平成27年度全国大会(大分大会)⑤平成28年度全国大会(千葉大会)について⑥理事(補欠)の選任について⑦定款の一部変更について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

交代された理事は、(北海道)鈴木文男氏から大島峰夫氏、(新潟市)相庭和彦氏から雲尾周氏です。

その他の事項として、「コミュニティ形成に寄与する社会教育推進体制の在り方に関する課題研究」「組織の在り方に関する検討(案)」について、資料に基づき説明しました。

ご来賓として文部科学省清木孝悦生涯学習局長が出席され「社会教育の一層の活性化に向けて」説明されました。

#### 機関誌「社教情報」編集委員会開催

5月17日(土)に「社教情報」71号の編集委員会を日本弘道会ビル内事務室にて開催しました。発行は9月を予定しております。内容の詳細は下欄をご覧ください。

#### 指定都市社会教育委員連絡協議会 に出席

6月27日(金)に浜松市で行われた指定都市社会教育委員連絡協議会に、坂本登常務理事が出席しました。

#### 各県の総会・研修会にお伺いしています

今年度も、当連合の役員が各県の総会・研修会にお伺いしています。

#### 文部科学省から委託事業を受託

文部科学省から平成26年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を受託いたしました。

この事業は今年度で3年目となりました。

#### 平成26年度第2回理事会・総会

平成26年度第2回理事会を10月22日(水)総会を10月23日(木)に徳島県徳島市内にて開催します。また、今年度から都道府県組織の「事務局担当者会議」も併せて開催します。

ご多用とは存じますが、ご予定くださいますようお願いいたします。

#### 訃報

平成26年6月28日に、当連合の監事、秋元秀夫氏が急逝されました。秋元監事には、平成19年に当連合が事務局を開設した時よりご指導いただきました。こころよりご冥福をお祈り申し上げます。



## 社教情報 No.71

社会教育の明日を拓く

特集・「地域と人がかがやく社会教育の近未来」

<巻頭言>歴史を継承する文化財と社会教育行政

<特集>執筆者

大橋 謙策 戸田 達昭、清國 祐二、神部 純一、中村 博

<実践で語る戦後の社会教育史> 山中千枝子氏(高知県)

取材 上條 秀元

<答申・提言>学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

解説 梶野 光信

<社研コーナー>わがまちの社会教育専事

井上 昌幸

<このひとに聞く>益田祐美子氏(平成プロジェクト代表)

取材 清國 祐二

<解説>社会教育における指定管理者制度の導入

山崎 清男

編集・発行 (一社) 全国社会教育委員連合  
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

